

平成27年度第3回 岡山市総合教育会議

日 時：平成27年7月28日（火）

午後2時～

場 所：市庁舎 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 有識者からの意見聴取について

学校法人創志学園 環太平洋大学理事長 大橋 博 氏

(2) 学習の動機づけについて

(3) 当面の進め方（案）について

3 閉 会

平成27年7月28日

第3回 岡山市総合教育会議資料

株式会社ベネッセコーポレーション

1. 学習の動機づけ

学習の動機づけの種類や保護者との関わり, 学校の取り組み事例につままして共有します。

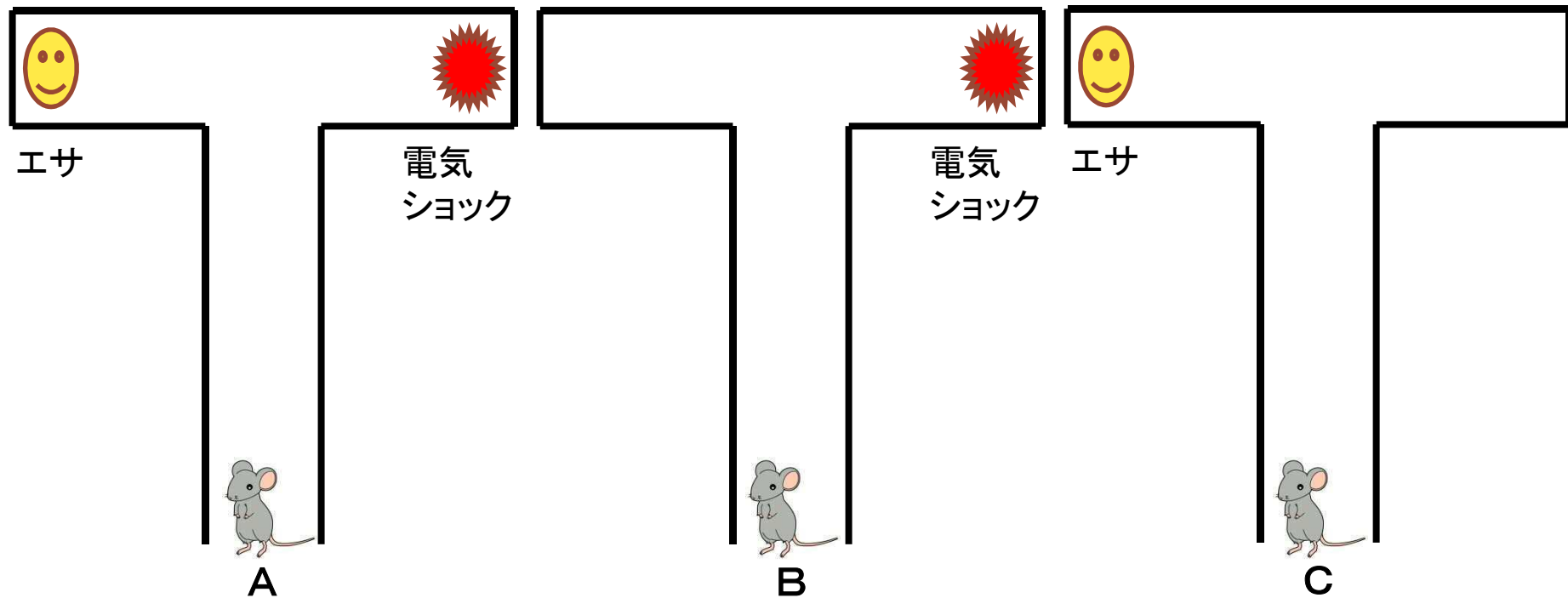
1. 学習の動機づけ

「アメとムチ」から「アメとムシ(無視)」へ

成功体験に注目し、徐々に目標を高めていくことが重要。

問 A, B, Cの3匹のマウスのうち、どのマウスが一番早くT字路の左の方に進めばいいことを覚えるか？

(「シロクマのことだけは考えるな！」植木理恵著から作成)



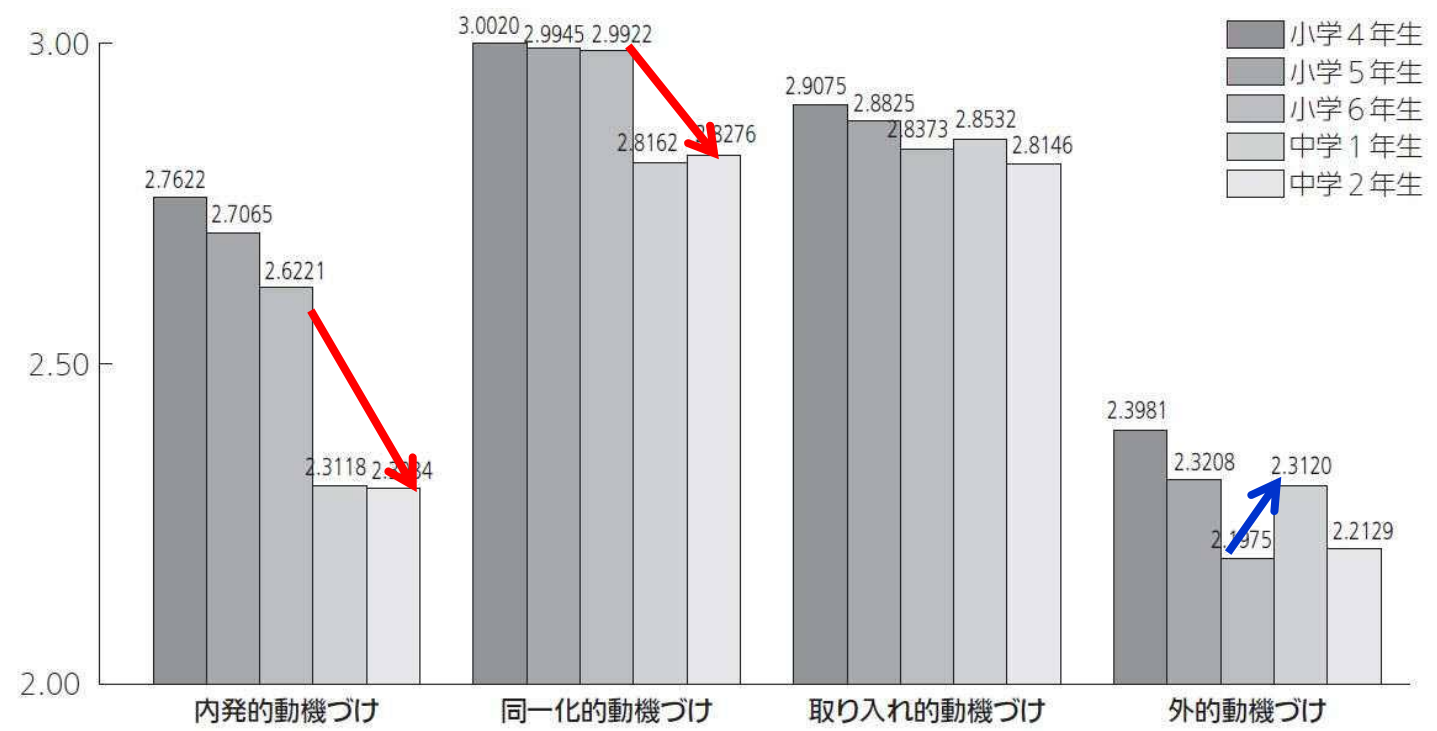
答 Cのマウス

成功すればアメがもらえ、失敗しても何も罰のないCのマウスが一番早く覚えた。失敗すると罰が与えられるA, Bのマウスは、一度電気ショックを受けると、再び受けることを恐れ、動くことさえもあきらめ、無気力になってしまったということであった。しかし、Cのマウスも毎回同じアメだと飽きてしまい、動かなくなったという。

児童生徒それぞれの状態，状況を把握した上で，指導することが重要。



中学生になると内発的動機づけが大きく低下する。



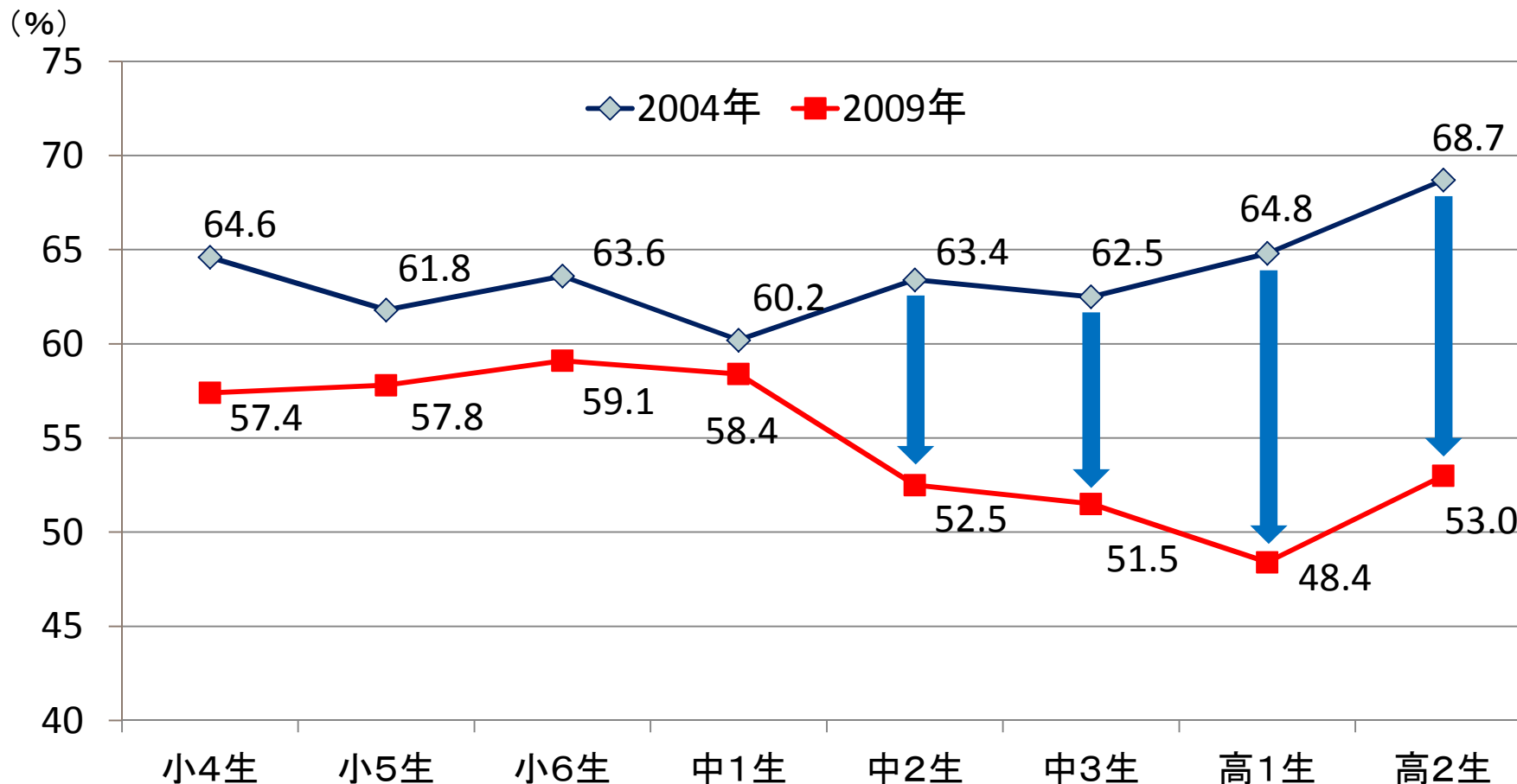
注) それぞれの得点は、項目平均値を示す。得点範囲は1 (まったくあてはまらない) ~4 (とてもあてはまる) である。

小学校から中学校での学習動機づけの変化の理由

- ◎授業形態が異なる(小学校では学級担任制、中学校では教科担任制)
- ◎定期テスト(中間テスト、期末テスト)がある
- ◎自分の学力が明確になる(テストの順位など)
- ◎英語の授業が本格的に入ってくる
- ◎授業の進度が速く、難易度が高くなる
- ◎自律的に勉強する姿勢が求められる
- ◎学習に対する意欲が下がる

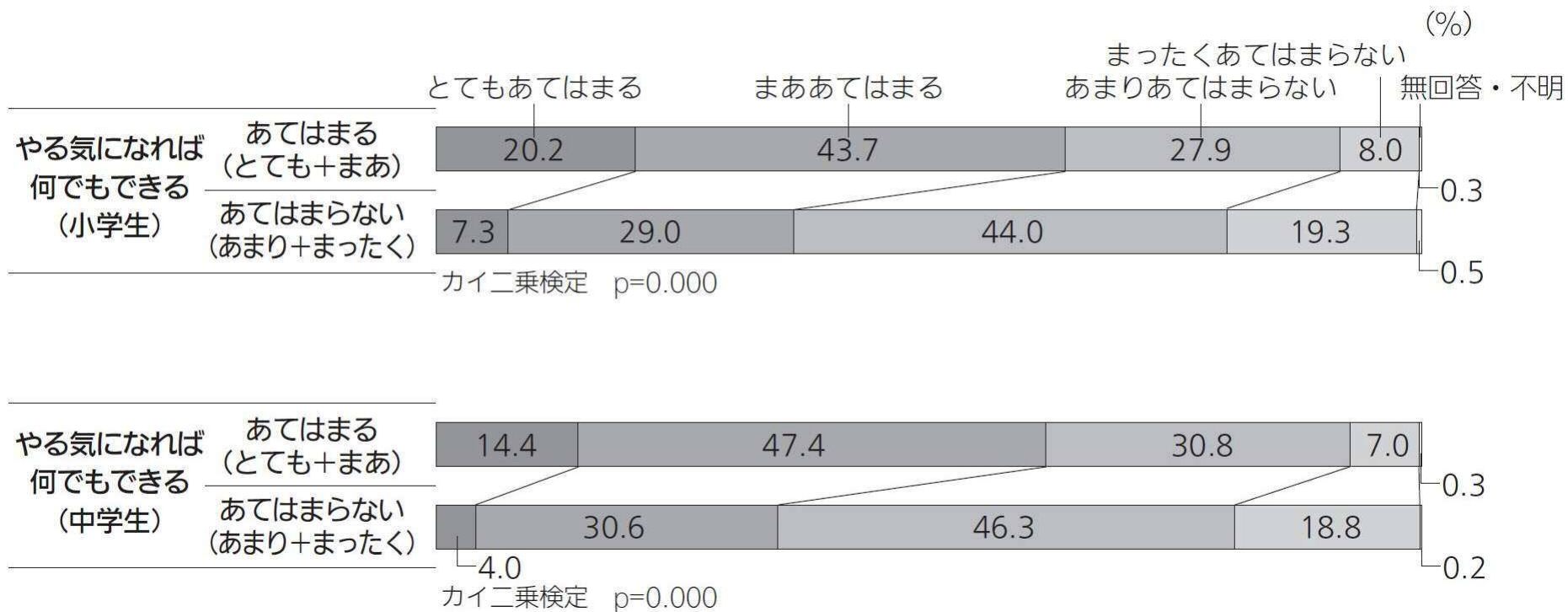
なりたい職業がない子どもが増加。特に中学2年以降が顕著に。学習に向けた動機づけのためにも将来の夢や目標を持たせる指導が重要。

【なりたい職業が「ある」と回答した割合の推移】



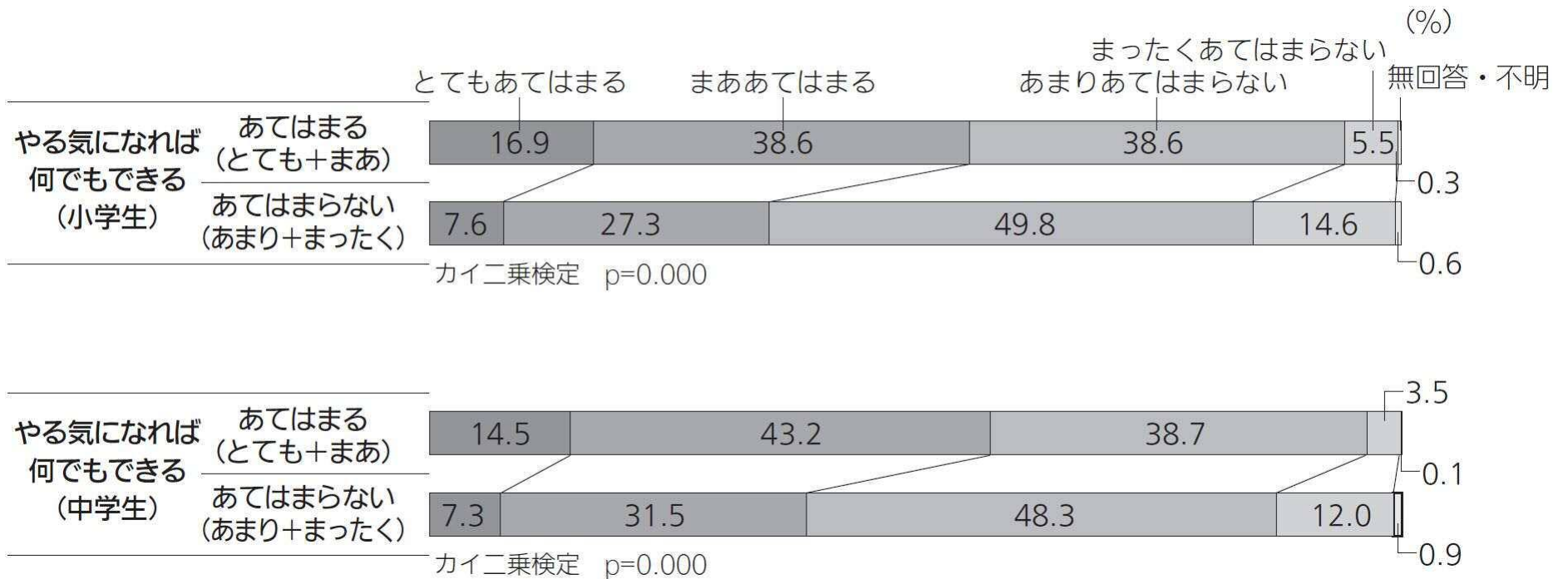
自己効力感の高い児童生徒は、友だちから受容されていると感じている割合が高い。

【「クラスの友だちから頼りにされている」と自己効力感との関係】



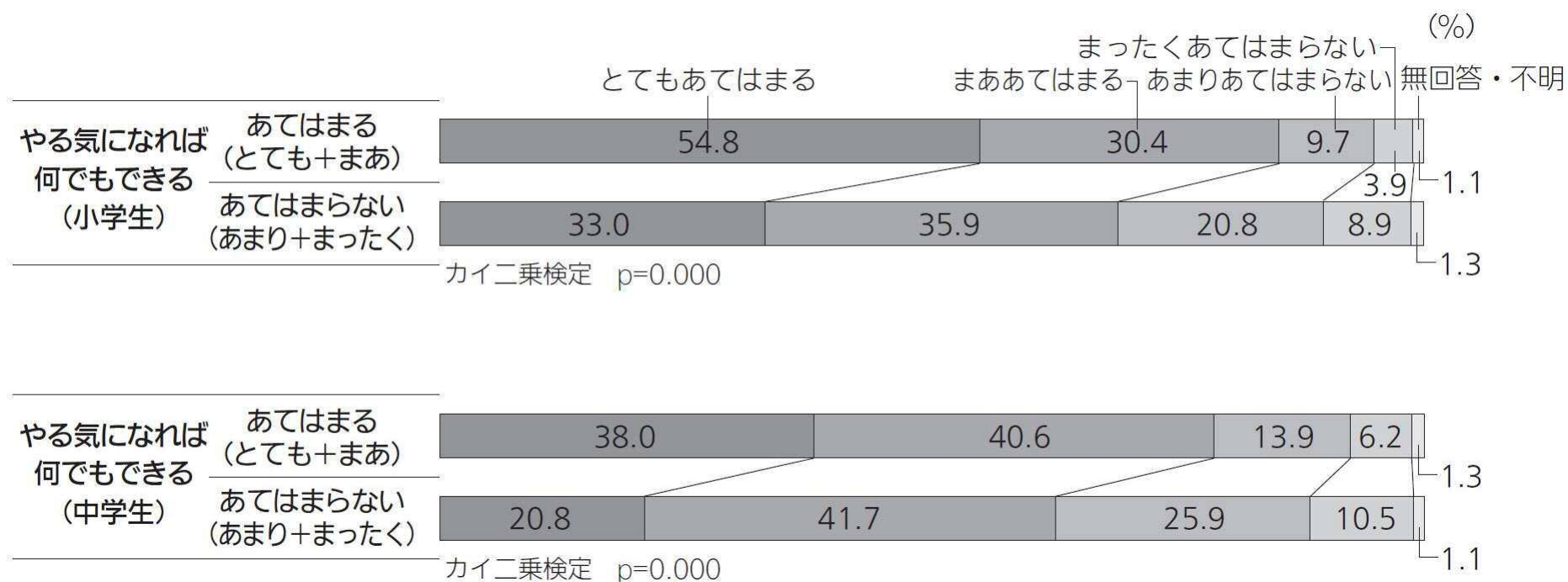
自己効力感の高い児童生徒は、親を頼らず自己決定している割合が高い。

【「親に頼らずに自分で決めることが多い」と自己効力感との関係】



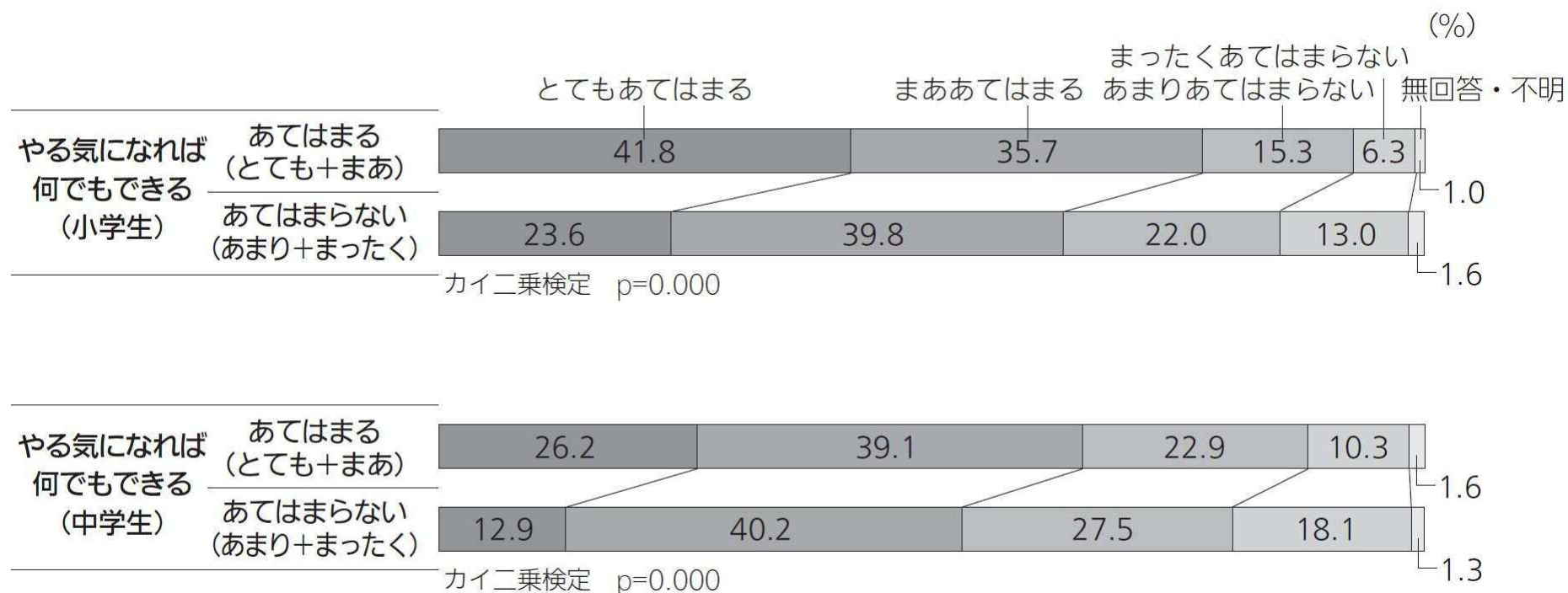
自己効力感の高い児童生徒は、母親からの励ましを受けている割合が高い。

【「あなたのお母さんは、やればできると励ましてくれる」と自己効力感】



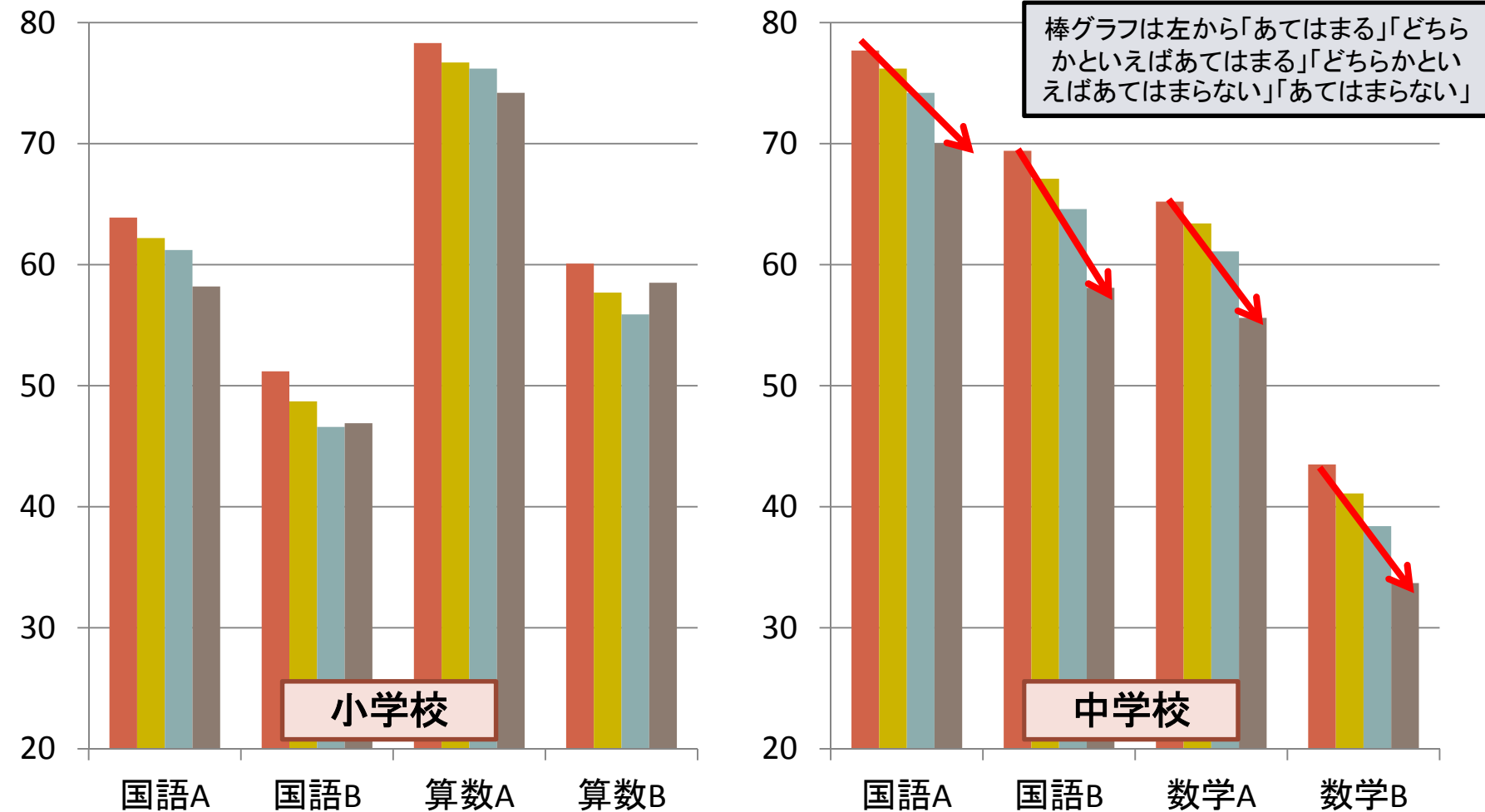
自己効力感の高い児童生徒は、母親から結果よりも努力を評価してもらっている割合が高い。

【「あなたのお母さんは、成績が悪くても、努力を認めてくれる」と自己効力感】



保護者から自信を持たせるよう働きかけのある児童生徒の方が学力が高い。
特に中学生は顕著な傾向があり、小学生以上に「自信を持たせる」ことが重要。

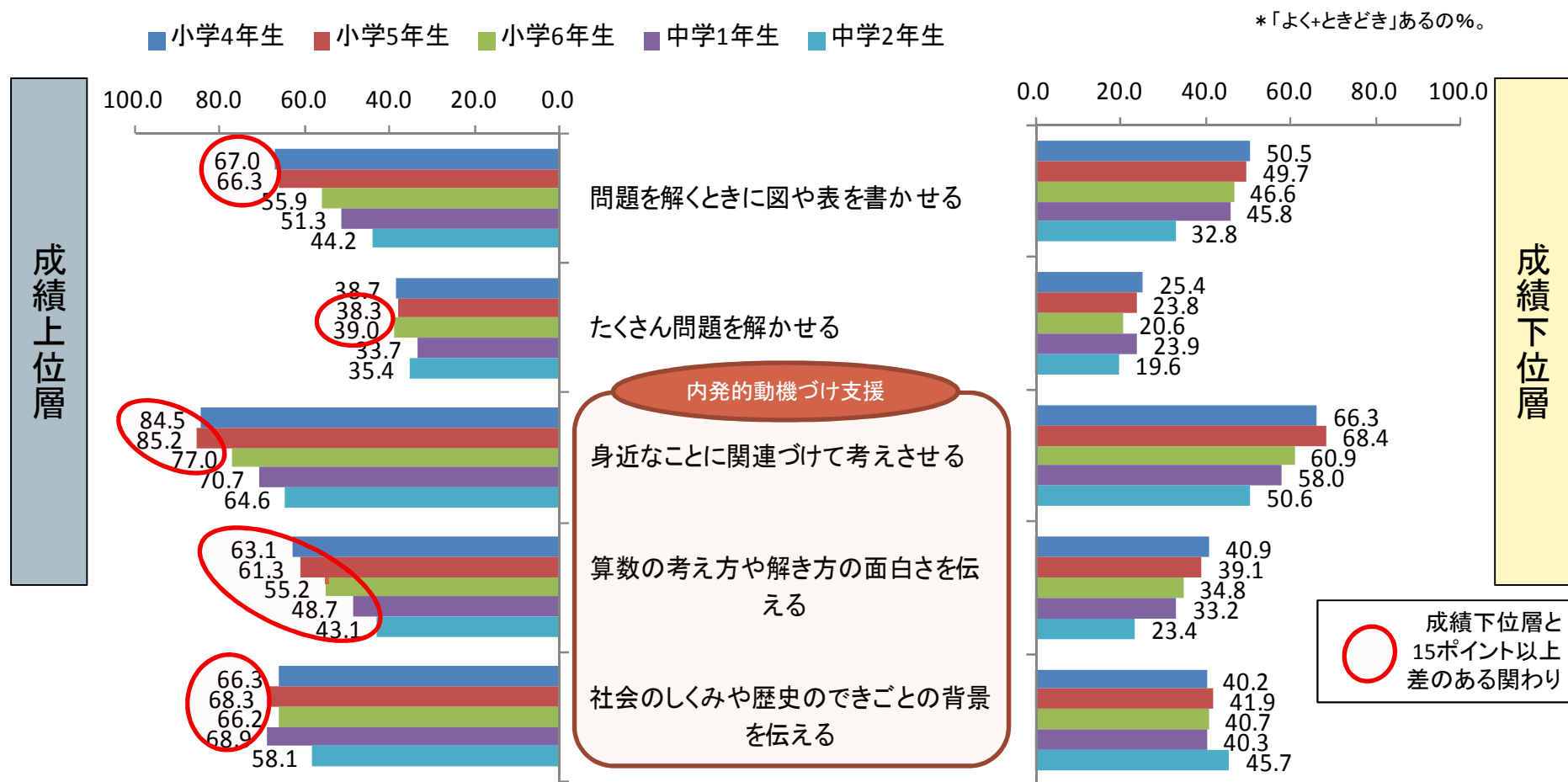
【「子どものよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている」と子どもの学力】



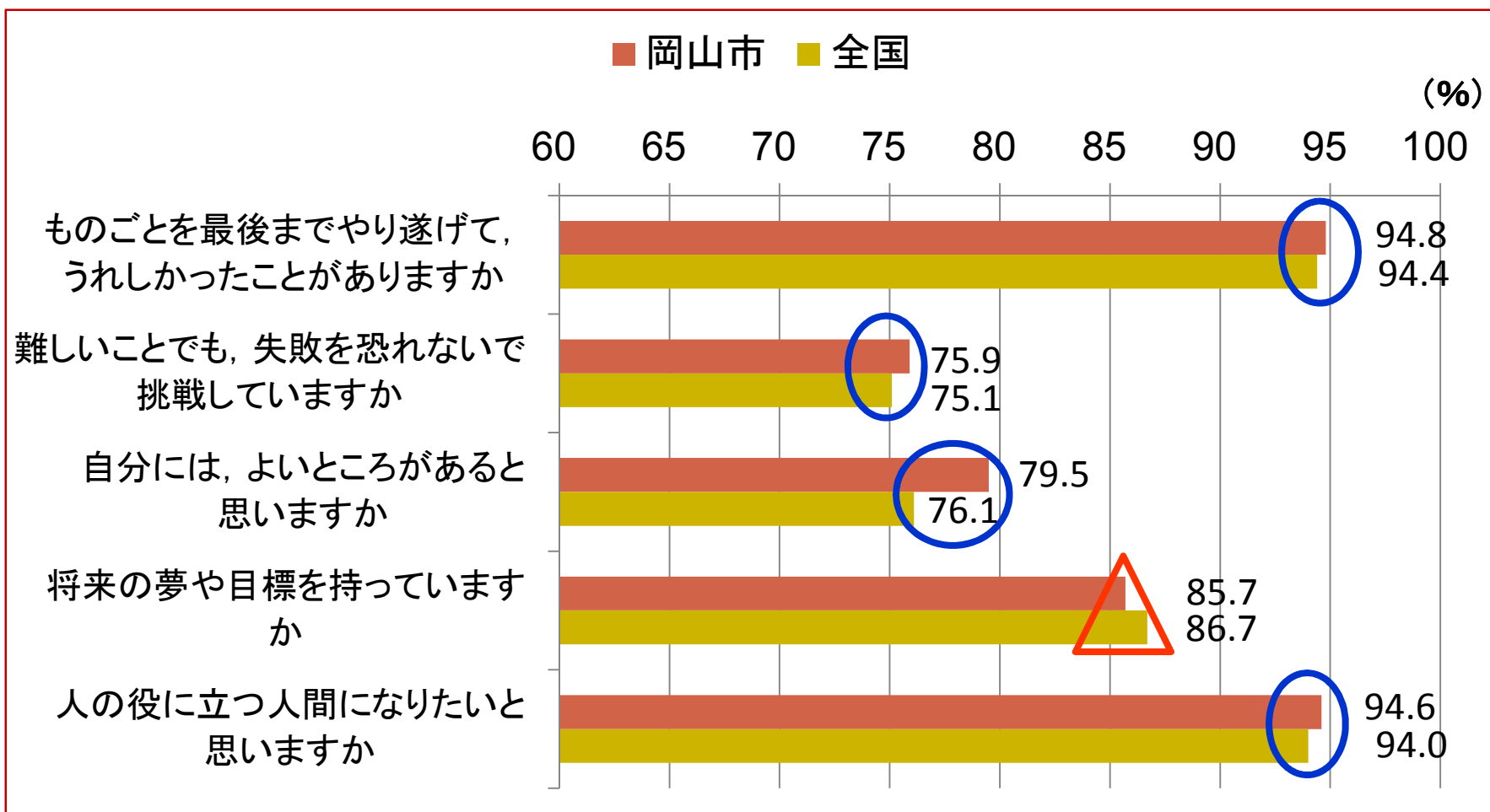
「全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した 学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」(平成26年 国立大学法人お茶の水女子大学)

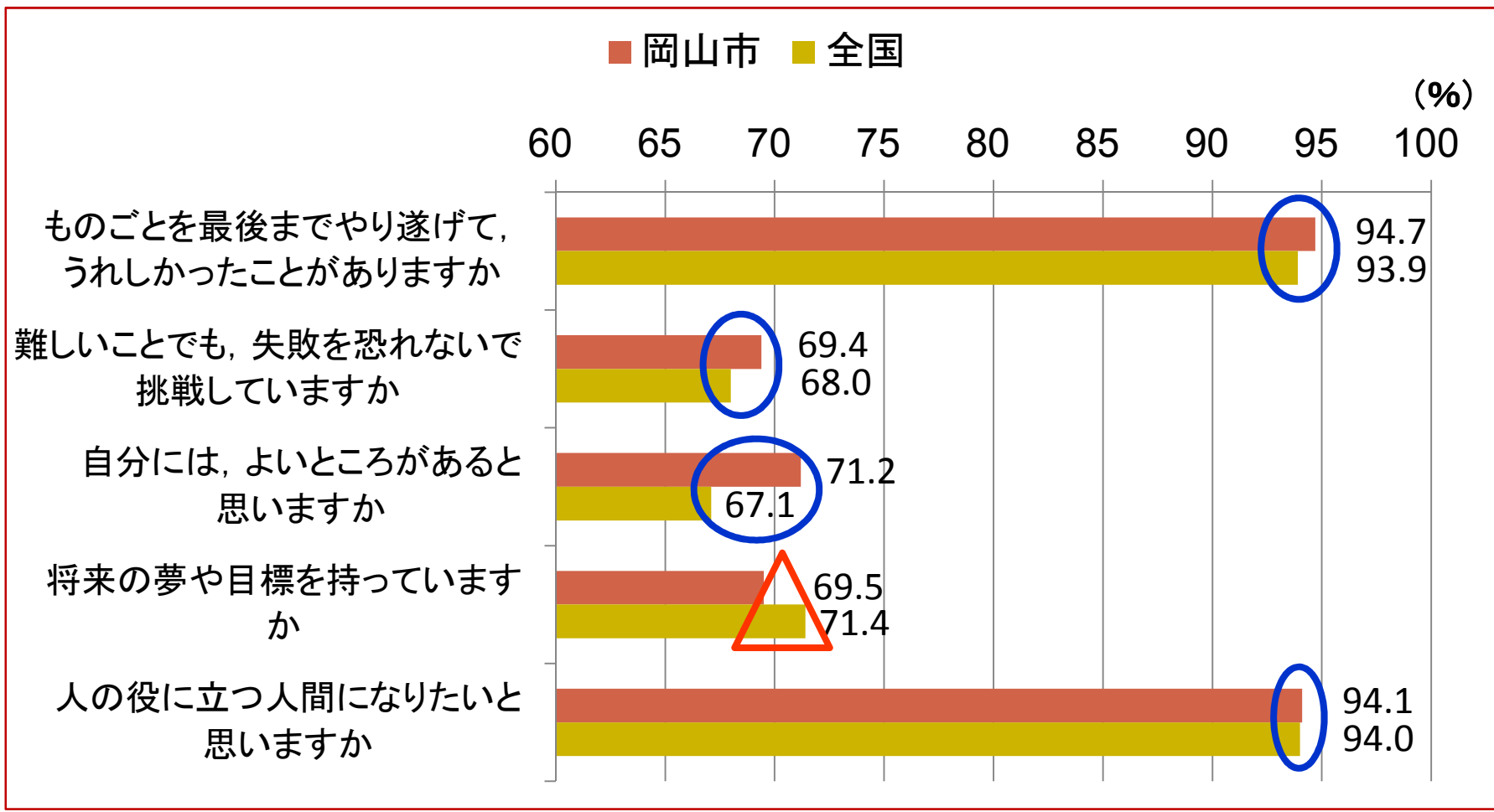
保護者の関わりの「内容」や「時期(学年)」が、子どもの成績にも影響を与えている可能性がある。

【「子どもの成績差の大きかった保護者の関わり(上位5位)」と子どもの学年の関係】



自尊感情は概ね全国を上回っているが、将来の夢や目標については、小中学校ともに全国を下回る。





話し合い活動を軸とし、授業に主体的に取り組ませる。

図1 「『聴き方・話し方』ステップシート」(聴き方を抜粋)

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | ステップ |
|--------------------------|----|----|----|----|----|----|--------|
| 課題に沿った話し合いができていのか考えながら聴く | | | | | ★ | ★ | STEP 8 |
| 話し手の意図や目的を考えながら聴く | | | | ★ | ★ | ★ | STEP 7 |
| 話し手の言いたいことを分かって聴く | | | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 6 |
| 自分の考えと比べながら聴く | | | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 5 |
| 友だちの考えをふくしできるように聴く | | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 4 |
| うなずいたりつぶやいたりしながら聴く | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 3 |
| 人の話をさいごまで聴く | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 2 |
| 話す人の方を見て聴く | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | ★ | STEP 1 |

図2 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」(3年生、5年生を抜粋)

| | | |
|--------------------|----|--|
| 友だちの考えを聴きわけ、違いを考える | 5年 | ～さんと～さんの考えをくらべると… ～さんの意見を聴いて考えが変わったのですが… ～さんと～さんの考え、どっちがいいのでしょうか みんなの意見を比べてみて考えたのですが… 私はどちらかというと～さんの考えに賛成で、なぜかというと… |
| 友だちの考えを言いかえる | | ～さんの言っていることは、…ってことですね。私も…、私は… ○○さんの意見はつまり…でしょう |
| たとえば話す | 3年 | たとえば… それって～にたとえると… もし…だったら |
| 分からないことをたずねる | | ～さんが言っていることが分からないので、もう一度言ってください だれか教えて ～さんにたずねます 質問します |
| 図を使って説明する | | 前に出ます 書いて説明します この絵を見てください 黒板を見てください |

【子どもが主体的に進める授業】

■背景

学力は比較的高めだが、周囲が察してくれる環境により、自分を表現する力に課題。

■目的

・子どもが自分たちで課題を見付け、考え、解決していく体験を通して、これからの社会を生きる力を育む。

■指導内容

- ・授業導入時に、本時のねらいや付けたい力を明確化し、児童に伝える。
- ・子どもが興味・関心を持てる課題を設定。
- ・課題解決のための方法を子どもたちが考え、話し合う。
- ・冒頭で示したゴールに沿って、自分の言葉でまとめ、発表する。

■成果

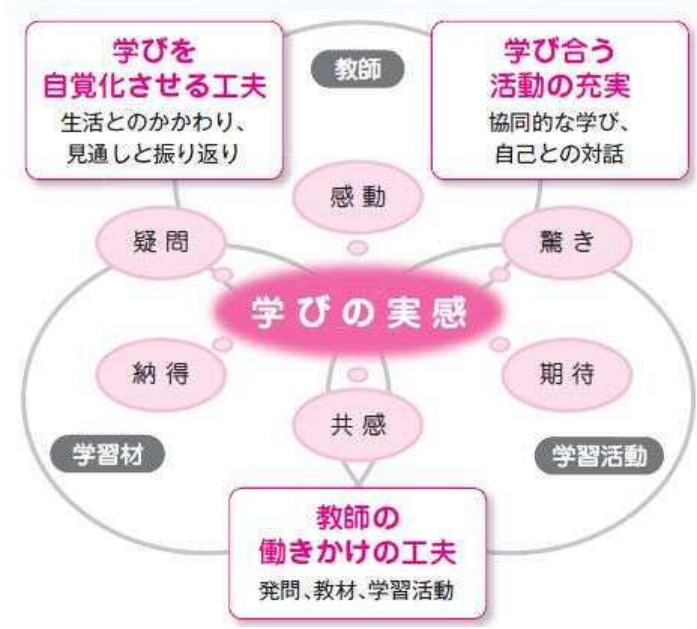
・「自分たちが授業をつくっている」という主体的な意識が生まれる。

学びの意味や楽しさを実感する授業で自信や意欲を育む。

図1 子どもが学びを実感している姿の見取りの視点

- 〈分かる・できる〉を自覚している（基礎・基本の習得）
 「分からないことが分かった」「出来なかったことが出来た」
- 〈使える〉を自覚している（知識・技能の活用）
 「学んだことを使える」「学んだことが役立った」
- 〈変わる〉を自覚している（自己の成長・変容）
 「よりよい自分へ変わることが出来た」
 「出来る自分をもっと感じたい」

図2 授業づくりの3つの方向性



【教員全員で授業改善】

- 背景
 子どもが学ぶ意義を実感していないのではないかという問題意識。
- 目的
 ・授業を通して自信を深める場面を増やし、自己肯定感を高める。
 ・子ども自身が『分かった・できた』『使えた』『変わった』といった実感を持てる授業にする。
- 指導内容
 ①疑問や期待を抱く教材など、情意面から子どもに働き掛ける。
 ②協同して学ぶ活動を充実し、学習の理解や思考を深める。自分や他者の考えを理解し合えるようにする。
 ③生活での経験や他教科と関連させながら、課題解決の見通しや学習活動の振り返りを充実させる。
- 成果
 ・主体的に学習に取り組む姿や、学んだことと生活とのつながりを意識する姿が多く見られた。
 ・教師から褒められるだけでなく、友だちから認められることで、自己肯定感が向上。

テストの結果ではなく、誘惑を我慢し「計画通りできた」という達成感を醸成する。

日めくり式 テスト計画！！

11月25日(金曜日) 年組番氏名()

今日のがまん ゲーム、メール

| 今日の学習スケジュール | | 学習教科 | 今日の習得目標 | 今日の学習時間 | |
|-------------|---------|------|---|---------|------|
| 時刻 | 学習可能な時間 | | | 時刻 | 実施時間 |
| 6:00 | | 社会 | OK 本P34~57まで出できた事を年表にまとめる (年代とできごとの覚え方) | 6:00 | |
| 7:00 | | 家庭 | OK アリトを使って洗剤についてまとめる。 | 7:00 | |
| 8:00 | | 数学 | OK 本P82~89 アリト集 比例と反比例の7-7の問題 | 8:00 | |
| 9:00 | | | | 9:00 | |
| 10:00 | | | | 10:00 | |
| 11:00 | | | | 11:00 | |
| 12:00 | | | | 12:00 | |
| 13:00 | | | | 13:00 | |
| 14:00 | | | | 14:00 | |
| 15:00 | | | | 15:00 | |
| 16:00 | | | | 16:00 | |
| 17:00 | | | | 17:00 | |
| 18:00 | | | | 18:00 | |
| 19:00 | | | | 19:00 | |
| 20:00 | | | | 20:00 | |
| 21:00 | | | | 21:00 | |
| 22:00 | | | | 22:00 | |
| 23:00 | | | | 23:00 | |
| 0:00 | | | | 0:00 | |

自分ひとりで決まってることに
こだわらなくていいよ!!

★今日の振り返り★

今日は社会の年中の全部を年表にまとめた。まとめていると年代とできごとの覚え方についてまとめるのが楽に感じた。自分ひとりで決まってることにこだわらなくていいよ!!

★明日、頑張りたいこと★

予定は1コマだけ。3コマも、1コマは時間があまる分、たくさん勉強する。

*30分未満の空き時間を上手に使おう!!

【日めくり学習計画表】

■背景

ある調査で、自己統制力が低いという結果が出る。『計画を立てて継続的に学習している』のスコアも低い結果となる。

■目的

- ・メールやゲームなどの誘惑に負けず、我慢して学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。
- ・計画通り学習を進められた生徒には、結果が出なくても、達成感と次への意欲を持たせる。
- ・最終的には自ら計画を立案、実行できるようになることを目指す。

■活用方法

- ・生徒が自分の理解度を踏まえて、各教科の目標を決め、学習計画を立てる。
- ・1日の学習目標、計画を達成するために、その日、我慢するものを自分で決めて決意表明をする。
- ・定期考査終了後、目標や計画が達成できたかどうかという視点でテストを振り返らせ、自己統制力や計画立案力、遂行能力を客観的に評価させる。

「大変でも頑張る」経験を通して自らの選択に責任を持たせる。



写真1 帰りの会が終わると10分間の学習を行うが、班で机を寄せ合って取り組む。ここでも、分からない問題を教え合う姿が見られるという



写真2 保育園での職場体験の様子。生徒は小さな子どもたちと一緒に遊び、慕われるうちに、自己肯定感を高めていく

【教科での授業改善・工夫】

■背景

もともとは生徒の「荒れ」が目立っていた。その原因として、主体的に考える力が育っていないと考えた。

■目的

・落ち着いた学校づくりと、自ら考えて行動できる生徒の育成。

■指導内容・工夫

- ・多くの活動を班単位で実施。提出物の回収、帰りの会の後に行う10分間の学習タイム等も班で行い、責任感や自主性を育成。
- ・勤労観、自己肯定感醸成のため、保育園、高齢者福祉施設で職場体験(2回)を実施。
- ・教科ごとに評価の観点を明確化し、生徒に伝えることにより現状を受け止め、自己を見直し、主体的な行動を促す。

■成果

- ・高校を中退する生徒が急速に減少。
- ・「ルールを守る」「頑張れば出来る」「困難があっても頑張る」と考える生徒の増加。

「伝えたい」という気持ちから「必要感」「自己肯定感」を育む。

English Times No.12
 Let's introduce about Japanese Traditional Things!
 Date: Wednesday, August twenty-ninth

昨日シミュレーションをしてみたのみなさんの感想で～！

- 一方的に話し続けるのではなく、質問をはさんだりもしたい、間違えることを気にしないで「伝えよう」という意欲をもちたい。
- 何かものを使って伝えるのは、すごく幅が広がるなと思いました。ちゃんと準備を万全にして取り組みたいと思います。すっごく楽しみになってきました☆
- 「伝える」ということを考えたらこんなもんじゃダメだと思う。もっとポーズを考えたり、強弱やジェスチャーを気にして！
- 沈黙はつらい。
- シミュレーションしたら、相手が話そうところがないことが多かった。話しを伝えるのも大事だが、相手に聞いて話しを聞くということも大事なので疑問文をもう少し加えたい。
- なんかいける気がしてきた。今まで留ったことをしっかりやりたい。
- 一方的に話すのではなく、会話をすること、相手のことを知り自分のことも知ってもらおう。

My Tool Box
 対話をするとき必要だとみなさんが考えた英語表現を紹介します！

聞き返し言葉
 I beg your pardon? Excuse me? Sorry. How do you spell it? What's that? Are you OK?
 I have a question. Do you have any questions? Can you speak up, please?
 What does it mean?

一言感想を言う／あいづちをうつときに使おう
 Oh, I see. All right. It's interesting. It's wonderful. It's cute. Thank you. Really?
 Me, too. I think so, too. I don't think so. I agree with you. I disagree with you. Wow!
 How beautiful!

必ず使いたい既習表現
 It is difficult for me to use it. / Is it difficult for you to use it?
 Have you ever used it? / I have never used it.
 It is used by many people. / Is it used in your country?
 Do you know how to use it? / I don't know how to use it.

General questions!
 May I ask your name? Where are you from? Which part of America are you from?
 How long have you been in Japan? What is your favorite Japanese food?
 What are your hobbies? Where do you live now? I am Yatsunobu. Please call me 'Yacchan'.
 さよならのあいさつ
 Did you enjoy today's English class? I'll always remember you. I enjoyed talking with you.
 I miss you. Thank you for everything. Thank you for coming to our English class.

【教科での授業改善・工夫】

■ 背景

「英語なんて必要ない」、英語にやりがいを見出せず、苦手意識を抱えたまま卒業する生徒が多い。

■ 目的

・生徒が自ら「英語を学びたい」と思うような教材や場面設定を工夫し、英語を話したいと思う状況を作ること。

■ 指導内容・工夫

・信州大教育学部の教員と留学生を招いたグループでのコミュニケーションの場の設定。

・道徳的なテーマで思いや考えを表現させることにより、生徒が書きたい、話したいという気持ちを高める。

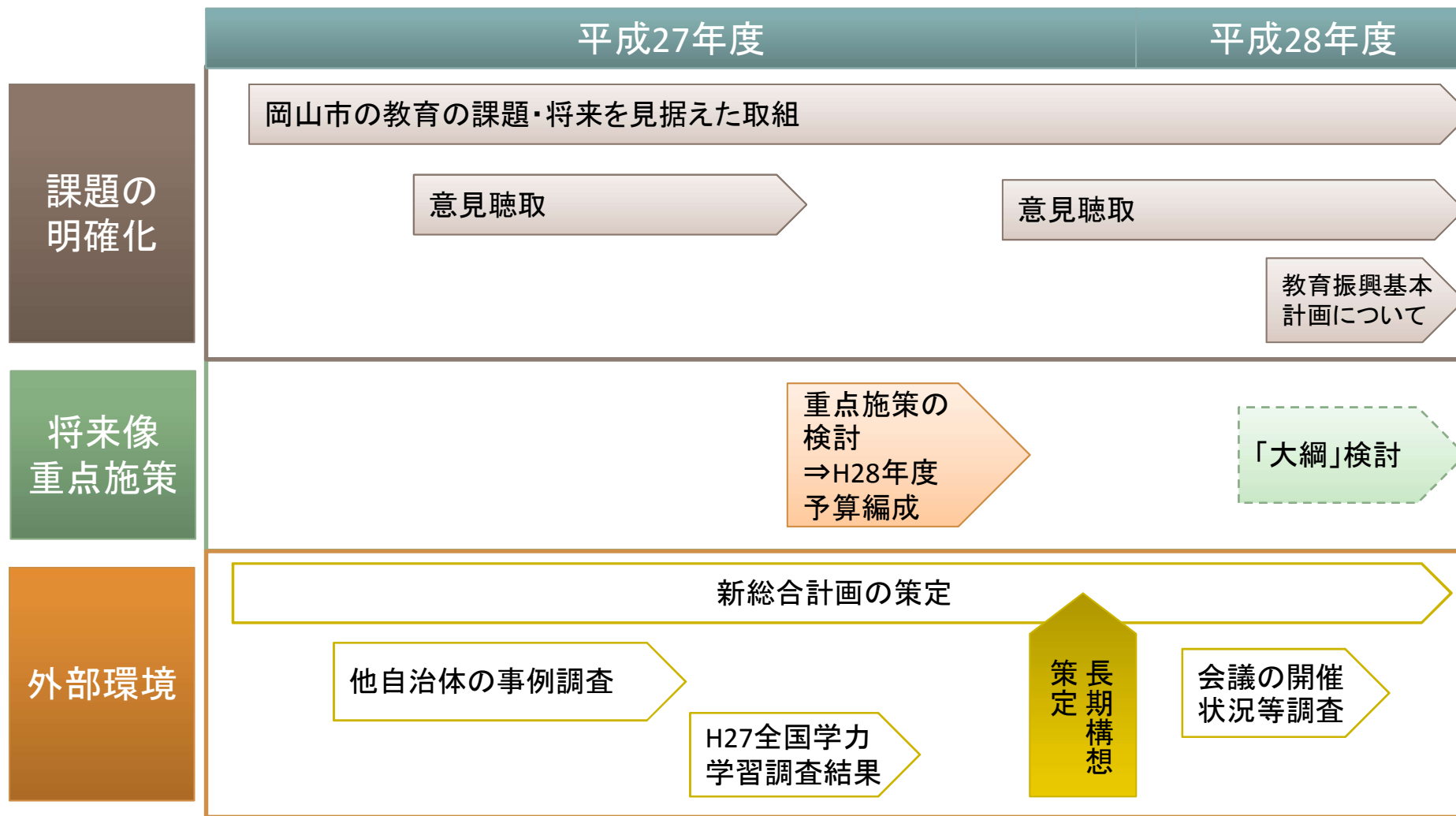
・教科通信「イングリッシュ・タイムズ」で生徒の感想を共有し、自己肯定感を高めると同時に、間違いを受け入れる雰囲気醸成を行う。

■ 成果

・外国人に自分の伝えたいことが伝わった、相手が言っていることが分かったという体験が大きな自信に。

・『何としても伝えたい』という気持ちが、英語に向き合う気持ちだけでなく、学び方も変化。

全体の流れ



協議事項の整理

当面の進め方(案)

| 当面のテーマ | 意見聴取 |
|---|--|
| <p>① 教育環境</p> <p>(例) 教員の負担軽減 地域との連携・協働</p> | <p>有識者</p> <p>(例) 学識経験者 企業経営者</p> |
| <p>② 学力向上</p> <p>(例) 授業改善 将来を見据えた取組</p> | <p>教育現場</p> <p>(例) 校長会 教育支援室</p> |
| <p>③ 問題行動等</p> <p>(例) 問題行動 不登校</p> | <p>地域・保護者</p> <p>(例) 連合町内会 PTA連合会</p> |
| <p>④ 福祉との連携</p> <p>(例) 特別支援教育 相談支援体制 放課後児童対策</p> | |

| | | |
|------------------------------|--|---|
| <p>H27</p> <p>夏～冬</p> | <p>テーマ別の協議</p> <p>(例) ○教育環境 ○学力向上</p> <p>○福祉との連携</p> | <p>意見聴取等</p> <p>校長会</p> <p>先進事例 H27全国学力・学習 状況調査結果概要</p> <p>関係部局</p> |
| <p>秋～冬</p> <p>年度末</p> | <p>H28年度に重点 的に講ずべき施 策の検討</p> <p>H28新規事業の 説明</p> | |
| <p>H28</p> <p>第1回</p> | <p>初年度の総括 新年度の取組 方向</p> | <p>新総合計画長期 構想の説明 (教育・子育て 分野等)</p> |